



令和2年度 宿利原小学校だより

# 宿っ子

6月号



学校のホームページは上のQRコードからお入りください



一つの目標に向かって ~チーム宿利原~

校長 有留 盛昭

宿利原小の池は、子どもたちにとっていろいろな発見ができる楽しい遊び場になっています。子どもたちは、本当に生き物が好きで、池にいるオタマジャクシやカエル、イモリ、ヤゴなどを見つけては観察したり、飼育したりしています。子どもたちは、平気でこれらの生き物を捕まえます。相手が、ヘビであっても「近づいたらいけないよ」と上学年が周囲に注意しながらも、それぞれに近づきじっくりと様子を観察している姿が大変ほほえましいです。自然豊かな環境は、子どもたちに貴重な体験と感性を育んでくれます。

ただ、本校の子どもたちは、少人数のために友だちと切磋琢磨して自分を高めるということが少なく、競争意識もおこらないために、自分自身に対して自信をもてていないという結果が様々な調査に現れています。

そこで、学校では、子どもたちが自信を持って意欲的に活動できるように、様々な教育活動を展開しています。まず、「いいこと発見宿利原の樹」の取組です。友だちのがんばっていることや優しさを見つけてカードに書いて紹介する活動ですが、紹介された子どもは、友だちに認められることで自信を持つ機会となります。また、友だちのよさを見つけようとする態度を育てることに繋がります。「いいこと発見の木」には、たくさんの紹介の花が咲いています。学校に来られた時は是非御覧ください。次に、朝の体力づくりや全校体育、体育の授業で「一輪車」の練習に取り組んでいます。これは、秋季大運動会での演技に向けての練習でもあり、県教育委員会による「チャレンジかごしま」での「一輪車でGO」へ挑戦するための練習でもあります。子どもたちには、学校内だけでなく県内の子どもたちと競う場を設定してあげることも必要だと考えています。

さて、学校外の子どもたちと競う場として、裏面でも紹介していますが、先日行われた町子ども育成会主催のフレンドリーラグビー大会では、全校児童10名全員が2チームに分かれて出場し、好成績を収めることができました。子どもたちから「ONE TEAM」という言葉が出たとき、これまでの練習風景を思い出しました。子どもたちは、登校後の朝の体力づくりとして午前8時まで全員で練習を続けました。初めて経験する1年生にもパスを出し、得点を入れるチャンスをつくりながら、全員で優勝するために練習しました。

「勝ちたい。優勝したい。」という思いや願いが全員に共通の目標となれば、そこには自然とチームワークが芽生えてきます。毎日努力することも苦ではなくなります。

ラグビー日本代表の稲垣選手は「ONE TEAM は簡単なことじゃない」とテレビの番組で話しています。6か国の外国人が集まるチームが日本代表という看板を背負ってまとまるためには、「自分のやるべきことを粛々とやり、自分の役割に徹すること」「チームを信頼すること」が大切なのだそうです。ハードな練習や苦難を共に乗り越えてきた仲間だからこそお互いのことをよく知り、心から信頼することができるようになるのだそうです。

一つ自信をつけた子どもたちの次の目標は何でしょう。みんなの思いや願いを共通の目標に掲げ、10名が一つになって努力すればきっと……。子どもたちだけではなく、私たち大人(職員・保護者・地域)も「子どもたちの健やかな成長」という願いを共通の目標にすれば、きっと大きな力を発揮できます。チーム宿利原の中心には、子どもたちがいます。子どもたちの明るい未来をみんなで作りあげていきましょう。